



連絡先

山本邦夫 (982) 8844 巖 博 (982) 9663
亀田優子 (982) 1277 中村正公 (983) 8312
澤村純子 (983) 6275

少人数学級 中学校の実施なぜ遅れる？

京都式少人数教育 35人を基準に配置

日本共産党八幡市議団 市議会一般質問で追及

9月4日の八幡市議会一般質問で、日本共産党の山本邦夫市議は、コロナ感染予防で小中学校の児童生徒の過密状態を避けるため、少人数学級を進めるよう迫りました。この問題では、全国知事会、全国市長会などが少人数学級を提言しています。

10年間の学級編制を比較

質問では、八幡市の学級編制について30人以下学級の割合を比較しました（右表参照）。小学校では10年間に30人以下学級が58.5%から76.9%に前進しています。一方、中学校は同じ期間に22~25%程度で推移し、ほとんど停滞しています。

山本市議は、こうした事態を打開するため、小学校ではただちに30人以下学級に改善すること、中学校ではまずすべての学級を35人以下にし、さらに30人以下の学級をめざすよう提案しました。

これに対し八幡市教委は、少人数学級について国・府に教員配置を求めると答弁。また、

小中学校の学級編制

30人以下学級の割合（10年間を比較）

	2010年度	2020年度
小学校	58.5%	76.9%
中学校	22.6%	25.5%

府の京都式少人数教育では、小学校は30人程度、中学校では35人以下の学級編成を可能とするよう教員を配置していると述べました。

府の少人数教育では、市町村が少人数授業と少人数学級を選択できるように教員を配置していますが、現行では、小学校に比べ、中学校の少人数学級が遅れる要因となっています。京都府、八幡市が真正面から少人数学級をめざす立場に立つことが急がれます。

***京都式少人数教育**…小学1・2年生では31人以上のクラスに補助教員を配置。小学3年~中学生では、市町村が少人数学級または少人数授業を選択できます。

消費税5%を 野党共闘の旗印に

くらし応援する政治を

国内総生産（GDP）が落ち込み、消費増税とコロナ感染の影響が日本経済とくらしを厳しくしています。

自民党内部からも消費減税の声が出ているのに、安倍政権後の自民党総裁選挙の3候補からは消費税を下げるなどという政策は出てきません。

一方、野党では消費税減税が野党の共通の主張になりつつあります。くらしと経済をないがしろにする自民党政治に代わり、消費を活発にする消費税5%を野党共闘の旗印にして新しい政治に転換しましょう。